

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	外出することで、帰宅願望が強くなる入居者がいるので外出を控えてしまったり、職員の数が少ないので外出することができない	1週間に一度は外出して、気分転換と住み慣れた場所での安心感を感じてもらう。	職員の数は少なくとも外出できるように、外出表を作り入居者の変化を観察する。	1ヶ月
2	10	家族や入居者の参加がなかなかできないので、意見交換の場がない	地域の方々と家族・入居者・職員が集まり、ホームの運営を考えていく	入居者がいつもいるリビングを使い会議をすることで、運営推進会議の活性化をはかる。	1ヶ月
3	2	職員が地域に関心がいかない。イベントに参加しているが、参加しているだけで役割を考えていない	地域に関心を持ち、地域との結びつきを考え、入居者のみならず地域の人やすやすい場所をつくる	地域の人たちとの触れ合えるときをもつ。祭りを開催して、地域の人を招き交流する。	5ヶ月
4	26	介護計画どうりのケアができていない	利用者本位の介護計画書を作成して、目標にむけてケアをすすめることで、利用者が過ごしやすい暮らしをもてる	職員が問題点を共有し、それを計画書に反映させ職員に目標を把握理解をしてもらう	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。